

第92回一般質問一覧表

4.12.19

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
1	高瀬 洋	市民の情報リテラシー向上施策について	(1)令和3年度のパソコン講座を廃止した理由を聞く この講座はどのような内容であったのか、また、廃止した理由を問う。	部長
			(2)ネット社会に配慮した新講座の開設 パソコン講座に代わって、スマートフォンやパソコンの活用講座を開設してはどうか。	
			(3)市内の公共施設へのWi-Fiの設置計画について オリナスとみらいえ以外のドウジアムや西脇病院へのWi-Fi環境整備は今後の検討ということであったが結果はどうか。	
		(4)市民の情報リテラシー向上に関して市長の考えはどうか。市長の思いは。	市長	
1	高瀬 洋	西脇市駅～谷川駅間へのマップの設置について	(1)にしわきウオーキングマップについて このマップはどのようなものなのか、説明を求める。	部長
			(2)利用状況 どれくらい歩かれているのか。	
			(3)提案 このマップに駅をスタート兼ゴールとして、多少手を加えて駅に置いたらどうかと思うがどうか。	市長
2	藤原哲也	福祉用具購入費及び住宅改修費の受領委任払い制度の導入について	(1)いつから導入する計画なのか。	部長
			(2)所得制限は設けるのか。	
			(3)「償還払い」と「受領委任払い」の選択はできるのか。	
		小中学校内で怪我した際の医療機関での保護者一時支払いについて	(1)医療機関での診察費の一時保護者支払いを市負担に	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
		帯状疱疹ワクチン接種費の助成について	(1)帯状疱疹ワクチン接種の助成支援を	
		出産・子育て支援について	(1)出産・子育て応援交付金事業を活用した更なる市の取組の現状は。	
			(2)リトルベビーハンドブックの普及と活用計画は。	
			(3)いろいろな事情を抱える産婦が増えている状況での支援体制は整っているのか。	
			(4)誰一人取り残さない妊娠・出産・育児支援に対する市長の決意は。	市長
3	村岡栄紀	地域包括ケアで住みやすさNO1の実現を	(1)これからの高齢化率の高まりを踏まえた社会保障費関連経費の増加への対応をどうするのか。また、人が少なくなる中で支える人材をどう確保するのか、生産性を下げないようにするための人材管理はどうか、技術革新をどう活用するかなど様々な課題を克服していかねばならないと考えるが。	部長
		(2)団塊の世代の方々は、高度成長期とバブル期を駆け抜け、日本が豊かになる中でそれぞれの自分らしい生き方を追求するようになった世代であり、後期高齢者となっても、一律のサービスを受けるのではなく、自らの価値観に合ったものを選択したいという考えが基本になると考える。また、病気や障害、課題を抱えつつも「自分らしく」生きられる社会を考えていく上では、本市の「地域包括ケアシステム」は特に「高齢者」だけを主語にするのではなく「全世代」を対象にすべきだと考えるが。		
		(3)生活習慣を課題とする人が疾病に移行しないように、従前から予防段階での取組を数多く行っておられるが、これまでの成果と、新庁舎がオープンし“健幸都市にしわき”に向けて、市民交流施設内に健康交流機能を配置することによる、新たな取組、参加者の属性や状況、具体的効果及び未来予測は。		

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>(4) “疾病予防”という観点から「市」「医師会や健康福祉連携施設」「西脇病院」「地域」等の取組や公民連携の現状と課題、今後の目標は。</p> <p>(5)本市においては、2015年に在宅医療・介護連携推進協議会を設立され、在宅医療・介護連携推進事業をスタートされているが、これまでの具体的な活動内容と成果、現状は。</p> <p>(6)医師会と併設して西脇市在宅医療・介護連携支援センターが設置されているが、そこでの人員とその属性及び業務内容は。</p> <p>(7)在宅ニーズの高まりとともに、行政が中心（黒子）となり、医師会を中心とした多職種による公民連携での医療を受けながら、最期まで自宅で暮らすことを可能にする「専門的な在宅医療の体制」を構築することが必要不可欠になってくると考えるが、地域包括ケアシステムのための在宅医療体制構築に対する本市の考えと進捗状況等の現状は。</p>	
			<p>(8)市民が安心して暮らせる西脇市を目指し、医療と介護がより密接に連携した西脇市版地域包括ケアシステムの構築が「健幸都市・にしわき」の実現には欠かせないと考えるが。</p>	市長
4	東野敏弘	西脇市における人材育成について	<p>(1)西脇市のまちづくり・行政運営の中心的役割を担う市職員の育成 西脇市の今後のまちづくりを考えると、まちづくり・行政運営の中心的役割を担う市職員の継続した育成が必要であると考える。市民の期待に応える市職員の育成が重要であるが、職員研修の在り方、人事評価の仕組み、職員採用等について問う。</p>	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>(2)まちづくりの中核を担ってくれる人材の育成 地域のまちづくりを推進してくれる人材、まちづくりの中核を担ってくれる有能な人材の発掘・人材の育成が、喫緊の課題であるとする。各種市民講座の開催や市民への啓発等、市行政の取組と今後の課題を問う。 さらに、他地域からの移住による人材の育成について問う。</p>	
			<p>(3)福祉分野を支えてくれる人材の育成 西脇市内にある高齢者福祉施設、障がい者福祉施設、こども園等の児童福祉施設、医療関係の看護師等、市民生活を支えている人材が不足している。その中でも、特に私は福祉を支える人材が重要だと考えており、福祉人材の育成について問う。福祉人材の育成・確保について、市行政の取り組みと課題を聞く。</p>	
			<p>(4)学校教育における人材の育成 小中学校においては、児童生徒の発達に応じた学力保障と併せ、地域に愛着を持ちながらも自分の力を伸ばす児童生徒の育成が必要だと考える。最終的には、児童生徒の生きる力を育むことが求められていると考える。そのことが、将来の西脇市を切り拓いていくカギになると考える。 学校教育における人材の育成、西脇市独自の取組を問う。併せて、学校教育における人材の育成につて、教育長の所見を伺う。</p>	教育長
			<p>(5)多くの市民が参画するボランティアの育成 西脇市内には、多くのボランティア団体が活動しておられるが、課題も多くあると聞いている。西脇市政を支えるボランティア団体、ボランティア人材の育成を意識的に行う必要があると考える。福祉ボランティア講座の開催や学校ボランティアの呼びかけ、ボランティア交流会の</p>	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			開催等が挙げられる。市社会福祉協議会との連携を含め、市行政の取組と課題を問う。	
			(6)西脇出身方々の力添えによる人材育成の取り組みを含め、片山市長の人材育成の考えを伺う。 今後の西脇市の在り方を考える際、『住みよい、住みよさのある西脇』だと考える。自分のまちに誇りを持ち、自分のまちを支える人材の育成が重要であると考え。各分野での人材(リーダー)育成やボランティア養成を行う中で、西脇プライドを育成していくことが大切だと考える。西脇出身方々の力添えによる人材育成の取組を含め、片山市長の人材育成の考えを伺う。	市長
5	森脇久夫	西脇市の農業について	(1)西脇市の農業の現状 西脇市の農業の特徴や農地の利用状況、耕作放棄地、農家数の推移など基本的な内容を聞く。	部長
			(2)担い手の現状 市内農家の年齢構成や認定農業者の現況を聞く。	
			(3)持続可能な農業とするための方策と課題 過去の一般質問で「組織化・法人化」の必要性を挙げられていたが、現時点における考えと課題認識を聞く。	
			(4)集落営農の組織化・法人化の取組 集落営農の組織化・法人化への取組に対する行政のサポートを聞く。	
			(5)先進地域の取り組み事例について 集落営農の組織化・法人化について、先進事例やモデルケースを聞く	
			(6)西脇市の農業の未来像について 「日本のへそ西脇農業ビジョン」は令和6年度より次期計画となるが、土地利用という視点から西脇市の農業を持続可能なものとするためどのように将来ビジョンを描いていくのかを聞く。	市長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
6	坂部武美	障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の施行に伴う西脇市の現状の課題について	(1)法の認識と今後の課題について ①この法律の基本的施策に示す項目の西脇市の実施状況と課題について ②手話通訳者の配置について	市長
		西脇市文化振興計画の策定、条例の制定について	(2)文化施策の推進に向けて ①西脇市文化芸術振興計画の策定、条例の制定について	
7	高瀬弘行	基金の管理方針とその活用などについて	(1)H17年からR3年の基金残高の推移についての分析 ①52億円から110億円への増加をどう分析しているのか ②基金の「見える化」について	部長
			(2)財政調整基金の目標保有額とその活用について ①従来は30億円を目標とあるがその根拠は ②一般には標準財政規模の10～20%とされ、他の自治体の平均でも同程度が多いが ③近年の取り崩しの状況と今後の活用方針は	
			(3)地域福祉基金の今後の活用方針について 基金残高は概ね5億円で推移しているが、これまでの活用実績と今後の活用方針は(重点施策などに活用する計画などは)	
			(4)地域振興基金の今後の活用方針について ①H21年から毎年概ね4億5千万を積立て、3年間で13億7千万円積み立てた経緯は ②その後、基金は同額で推移しているが、これまでの活用実績と今後の活用方針は	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
		マイナンバーカードの申請と受け取りについて	<p>(1)マイナンバー号の実績について 10月から始まった、マイナンバー号の稼働日数、申請数の実績は</p> <p>(2)交付申請の現状について</p> <p>①申請から交付までの日数が、約2か月かかるとの答弁でしたが現在の状況は</p> <p>②12月に入り申請は最後の追い込みになっているのか、11月と比較して伸びているのか、申請率と交付率の現状は</p> <p>③仕事等の理由で、交付の予約が難しいとの相談があるが予約以外の対応はできないのか</p> <p>④交付の際、免許返納の高齢者や幼児に同伴の保護者等、来庁が難しい方々の受け取れる良い手立てはないのか</p> <p>⑤年末に申請された方で、マイナポイント申込希望の方々の対応が最重要課題。市長の目標はほぼ達成。新たな目標があれば、目標達成に向けての意気込みと取組を聴く</p>	<p>部長</p> <p>市長</p>
9	浅田康子	男女共同参画を推進する条例の制定を	<p>(1)女性活躍の推進に向けた市の取り組みを問う ミライエに「男女共同参画センター」が設置されて8年目になる、女性活躍の推進に向けた市の取組は。</p> <p>(2)西脇市内の事業所内の現状は 育児休業の付与等体制が整っている事業所の現状把握はできているのか。 事業所向けには、啓発や支援はされているのか。</p> <p>(3)自治会など地域役員の現状は 自治会や地域の役員に女性の登用の支援はどのようにされているのか</p> <p>(4)子ども達へ「男女平等」をどのように教育をされているのか 子どものころからの教育が大切である、男女平等をどのように教育されているのか。</p> <p>(5)条例制定の考えを問う 条例を設置すべきでないか</p>	<p>部長</p> <p>市長</p>

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
		「日本の中心」標柱建立 100周年の取組は	(1)「日本の中心」「日本のへそ西脇」を市としてどのように考えているのか 市の資源や観光として「日本のへそ」をさらにPRする必要があると考える	部長
	(2)「日本の中心」の標柱が建てられてから令和5年が100周年となる、市の取組みを問う。 100周年を市民とともに祝う事業を考えてはどうか。			
	(3)標柱の建立から100年の歴史がある「日本のへそ西脇」への想いを問う		市長	
10	岸本年裕		へそ公園の整備とPRについて	(1)公園環境整備について 公園内の環境整備を実施し、子ども達が安心して遊ぶことができ、ファミリーが楽しめる環境づくり。
		(2)へそ公園のPRについて へそ公園の魅力向上、モニュメントや撮影スポットをSNS、写真映えする場所を作ってどうか		
		(3)観光の整備、PR 他市町では、QRコードを使ったPR策をされている。 市内の観光施設にQRコードや西脇市のキャラクター看板を表示してはどうか		
		(4)西脇市の観光をどのようにしていくか QRコードでの観光案内を提案したが、西脇市の観光のあり方や方向性と併せて考えを聞く。		
		(5)シンボルである日本のへその方針や展開について 日本のへそをテーマにしたまちづくりが進められてきたが、日本のへそをどのように生かして行くか、今後の方針や展開について聞く。		市長
11	藤原秀樹	西脇市のこども園の保育環境について	(1)こども園の配置状況について 市内こども園8園における保育士の配置状況について聞く。	部長
			(2)保育士の負担軽減について 有償ボランティアによるサポート制度を作ってはどうか。	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			(3)ライブカメラの設置について 保育士と園児を守るドライブレコーダーやライブカメラ設置助成制度を作ってはどうか。	
			(4)保育環境について市長の考えを聞く。 提案した保育環境の改善案をどう思われるか。現在の保育環境をどう思われているのか。	市長
		西脇市のデジタル化について	(1)デジタル商品券について 今回の西脇エール商品券発行にあたりデジタル商品券は検討されたか	部長
			(2)地域キャッシュレス決済について 市内統一の地域キャッシュレス決済を研究開発してはどうか	
			(3)西脇市の行政サービスなどのデジタル化について 業務の効率化、手続きの簡素化、人手不足解消するため市内、庁内のデジタル化について研究開発促進プロジェクトチームを作ってはどうか	
			(4)市長の考えるデジタル化の方向性はキャッシュレス決済などデジタル化について市長の考えを聞く。	市長
12	村井正信	学校給食の無償化を求める	(1)日本国憲法第26条において、「義務教育は、これを無償とする」とある。学校給食法第11条第2項には、「前項に規定する経費以外の学校給食に関する経費（給食費のことと理解されている）は学校給食を受ける児童又は生徒の保護者の負担とする」と記載されている。 義務教育は無償であるが、なぜ給食費は保護者負担なのか、教育長の考えを聞く。	教育長
		(2)令和3年度決算額の「学校給食費実費徴収金」はいくらか。 その内訳になる小学校における給食費実費徴収金はいくらか。 中学校における給食費実費徴収金はいくらか。 小学生、中学生の1人当たりの1年間の給食費はいくらか。		

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>(3)2000年以降失業率の上昇や非正規労働者の増加で格差が拡大し、子どもの貧困という問題も出てきた。そしてコロナ禍により、その影響が立場の弱い人に、そして子どもに出てきている。</p> <p>今、全国的に学校給食を無償化する自治体が増えてきている。学校給食の無償化は、保護者の負担軽減を図ることで子どもへの良い影響は大きいと共に、西脇市が住みよい町になる一つの政策と考える。西脇市において学校給食を無償化することを求める。市の見解を聞く。</p>	
			<p>(4)無償化をしない場合、無償化を実施することの課題(無償化しない理由)となるのは何か。</p>	
13	藤原桂造	比延地区の道路整備	<p>(1)市道鹿野上比延線の岸(きし)久後(くご)橋について</p> <p>この橋を朝夕利用する歩行者にとって、通勤自動車、大型トレーラー、トラックなどの通行が多く危険な状況である。朝夕の歩行者は、ひとつの企業の方々だけが岸(きし)久後(くご)橋を渡るということになるが、この改善策として比延地区の区長会からは、歩道橋を設置すればという案が毎年挙がっているが、設置できないという回答が出されている。設置できない理由を聞く。</p>	部長
			<p>(2)岸久後橋の歩道設置について</p> <p>この橋(道路)自体を拡幅すれば、よりスムーズな車両の通行が望めるが、大変難しいとは思っている。そこで、主に企業が中心に、歩行者専用の橋を取り付けることは可能か。</p>	